

立川市第5次文化振興計画の概要

第1章 計画の概要 P1～3

第1章は、計画策定の趣旨、位置づけ、期間、対象と役割分担について記載しています。「第5次文化振興計画」では、「第5次長期総合計画」と整合を図り、国や東京都の動向にも留意しながら策定しています。

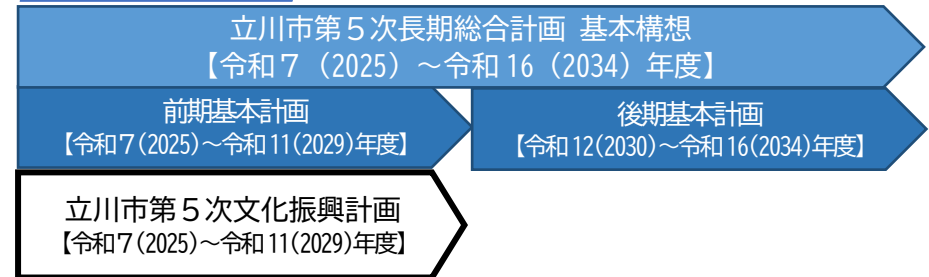
策定の背景

- 文化芸術推進基本計画（第2期）[令和5（2023）年度～]
- 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律[平成30（2018）年]
- 東京文化戦略2030[令和4（2022）年度～]

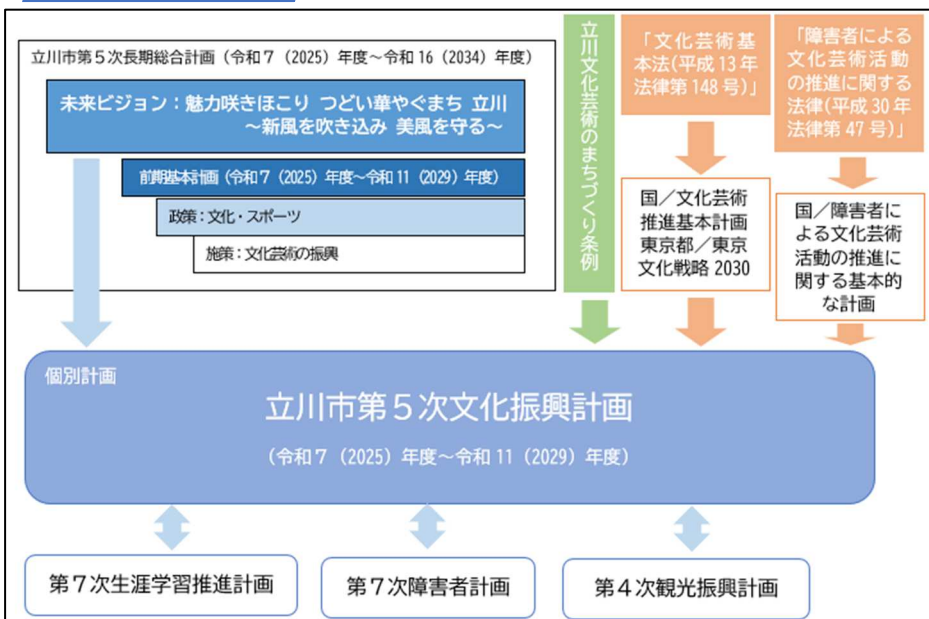
策定目的

だれもが身近に文化芸術に触れることのできる、多様な文化芸術活動を支援する

計画の期間



計画の位置づけ



第2章 計画を取り巻く状況 P4～8

第2章は、計画策定に係る本市を取り巻く状況を示しています。

第4次文化振興計画では14の成果指標を定め、うち6つの成果指標については令和5年度末時点で目標値を達成しました。

しかしながら、一部の指標では基準値を下回った期間もあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限の影響により、文化芸術に親しむ機会が減少したことがうかがえます。

	成果指標	基準値 平成25年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	目標値 令和6年度末
ふれる・たのしむ	日ごろから文化芸術に触れる機会があると思う市民の割合	38.4%	41.4%	44.5%	48.2%	50.3%	52.0%
	財団が展開する文化芸術事業への来場者数	47,500人	17,453人	37,628人	37,673人	65,478人	81,000人
	たましんRISURUホールと子ども未来センターの来場者数	701,044人	274,664人	373,521人	516,257人	561,473人	830,000人
	市民文化祭、地域学習館まつり来場者数	30,807人	3,452人	5,357人	15,229人	18,660人	35,000人
はぐくむ・つたえる	財団が展開する子ども対象事業と子ども未来センターの文化芸術支援事業の参加者数	2,999人	5,403人	7,129人	6,870人	7,002人	10,000人
	文化芸術活動ボランティア登録者数	101人	144人	149人	151人	230人	160人
	財団が展開する事業のうち学生による公演数（累積）	35回	157回	164回	172回	182回	260回
	文化芸術のまちづくり補助金補助対象事業数（累積）	36事業	77事業	85事業	95事業	100事業	100事業
つたえる・ひろげる	ファーレ立川アートツアー参加者数	1,811人	1,798人	2,081人	2,331人	2,218人	2,700人
	ファーレ立川アート管理委員会ホームページアクセス数（年間）	11,619	40,022	33,040	47,457	42,830	35,000
	立川市地域文化振興財団ホームページアクセス数（年間）	181,609	70,637	88,091	156,157	218,226	165,000
	歴史民俗資料館収集資料点数	13,119点	17,466点	17,988点	18,348点	18,642点	17,200点
ひろげる	立川いったい音楽まつり応募団体数（累積）	126団体	457団体	288団体	401団体	491団体	500団体
	まちづくり協議会ホームページアクセス数（年間）	3,411	9,832	10,648	13,224	11,849	10,000

本市の課題

- 文化芸術に触れることが市民のウェルビーイングの向上につながるという視点から、誰もが文化芸術に気軽に触れられる環境を引き続き整備していく必要がある。
- 市内のアーティストや文化芸術活動の担い手を支える基盤整備が必要である。
- 立川市史編さんに伴い収集した資料等の保存や活用方法の検討が必要である。
- 文化芸術に携わる団体同士が連携・交流するためのプラットフォームづくりが必要である。

第3章 本計画の基本的な考え方と体系 P9～12

第3章は、計画の構成基本的な考え方、体系、重点手法を示しています。

文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信する市民の主体的な活動を応援することにより、文化芸術が暮らしの中にも浸透し、市民のウェルビーイングと地域の活力が相乗的に高まる好循環を創出する社会を目指す。

計画の構成

取組方針 [㊦]	取組施策 [㊦]	具体的な取組 [㊦]
1 [㊦] ふれる、たのしむ [㊦]	1 [㊦] だれもが身近に文化芸術に触れ、親しむことができる機会を充実する [㊦]	1 [㊦] 地域における文化芸術活動の支援 [㊦]
		2 [㊦] 文化芸術イベントの開催 [㊦]
2 [㊦] はぐくむ、ささえる [㊦]	2 [㊦] アーティストやボランティアなど文化芸術活動のづくり手や支え手を支援し、持続的に活動できるしくみをつくる [㊦]	3 [㊦] 市内公共施設や公共スペースの活用 [㊦]
		4 [㊦] 民間施設の文化芸術活動への活用推進 [㊦]
3 [㊦] つたえる、とどける [㊦]	3 [㊦] 地域での文化芸術活動を広く発信し、その魅力を伝える [㊦]	5 [㊦] 子ども対象文化芸術事業の充実 [㊦]
		6 [㊦] 学生・若者・障害者等の文化芸術活動への参加促進 [㊦]
4 [㊦] つながる、ひろがる [㊦]	4 [㊦] 地域の文化財・伝統文化を保存し、次世代に伝える [㊦]	1 [㊦] 文化芸術を支える人材・ボランティアの育成 [㊦]
		2 [㊦] アーティスト・文化芸術団体等の支援 [㊦]
5 [㊦] 文化芸術活動にかかわる地域の団体、資源のネットワークを広げ、相互の連携を支援する [㊦]	5 [㊦] 文化芸術活動にかかわる地域の団体、資源のネットワークを広げ、相互の連携を支援する [㊦]	3 [㊦] 文化芸術活動の相談・支援体制の強化 [㊦]
		1 [㊦] 文化芸術資源を生かしたシティプロモーションの展開 [㊦]
6 [㊦] 文化芸術活動にかかわる情報のプラットフォームづくり [㊦]	6 [㊦] 文化芸術活動にかかわる情報のプラットフォームづくり [㊦]	2 [㊦] 効果的な情報発信 [㊦]
		1 [㊦] 文化財・伝統文化の継承、市史の編さん [㊦]
7 [㊦] 文化芸術コーディネーター（仮称）の検討 [㊦]	7 [㊦] 文化芸術コーディネーター（仮称）の検討 [㊦]	2 [㊦] 文化財・市史編さん資料の保存・活用方法の検討 [㊦]
		1 [㊦] 多様な主体や他の分野との連携・交流の促進 [㊦]
8 [㊦] 文化芸術活動にかかわる情報のプラットフォームづくり [㊦]	8 [㊦] 文化芸術活動にかかわる情報のプラットフォームづくり [㊦]	2 [㊦] 文化芸術にかかわる情報のプラットフォームづくり [㊦]
		3 [㊦] 文化芸術コーディネーター（仮称）の検討 [㊦]

重点手法

4つの取組方針を実行していくために、すべての取組において以下の手法を重視する。

- 1 デジタルテクノロジーの活用
- 2 多様な主体との連携
- 3 地域文化振興財団との連携強化

第4章 取組方針と具体的な取組 P13～20

取組方針1 ふれる、たのしむ

【取組施策1】

- だれもが身近に文化芸術に触れ、親しむことのできる機会を充実する

【具体的な取組】

- ① 地域における文化芸術活動の支援
- ② 文化芸術イベントの開催
- ③ 市内公共施設や公共スペースの活用
- ④ 民間施設の文化芸術活動への活用推進
- ⑤ 子ども対象文化芸術事業の充実
- ⑥ 学生・若者・障害者等の文化芸術活動への参加促進

取組方針2 はぐくむ、ささえる

【取組施策2】

- アーティストやボランティアなど文化芸術活動のづくり手や支え手を支援し、持続的に活動できるしくみをつくる

【具体的な取組】

- ① 文化芸術を支える人材・ボランティアの育成
- ② アーティスト・文化芸術団体等の支援
- ③ 文化芸術活動の相談・支援体制の強化

取組方針3 つたえる、とどける

【取組施策3】

- 地域での文化芸術活動を広く発信し、その魅力を伝える

【具体的な取組】

- ① 文化資源を生かしたシティプロモーションの展開
- ② 効果的な情報発信

【取組施策4】

- 地域の文化財・伝統文化を保存し、次世代に伝える

【具体的な取組】

- ① 文化財・伝統文化の継承、市史の編さん
- ② 文化財・市史編さん資料の保存・活用方法の検討

取組方針4 つながる、ひろがる

【取組施策5】

- 文化芸術活動にかかわる地域の団体、資源のネットワークを広げ、相互の連携を支援する

【具体的な取組】

- ① 多様な主体や他の分野との連携・交流の促進
- ② 文化芸術にかかわる情報のプラットフォームづくり
- ③ 文化芸術コーディネーター（仮称）の検討

第5章 計画の推進について P21

1. 成果指標
2. 計画の進行管理・評価の体制
3. 計画の推進体制
4. 計画や取組の周知

◆成果指標◆

指標名	基準値	目標
日頃から文化芸術に触れる機会がある市民の割合	50.3%	53.0%
文化芸術活動を行う市民団体との共催数	15事業	18事業